

MJサイエンス 全国総合文化祭

令和4年8月2日～4日 東京都にて開催

とうきょう総文 2022 自然科学部門、物理部門にて、本校科学部(3年生2名)が「びゅんびゅんごまにおけるねじれの力」というテーマで口頭発表を行いました。

8月2日

開会式の後、物理部門での口頭発表を行いました。物理部門では各都道府県の代表40校が発表を行いました。コロナ禍で思うように実験を行うことが出来ず、発表の場も少なかった学年ではありましたが、本校の発表について、審査員の先生からは「研究の過程が丁寧で、分かりやすい発表だった」との講評をいただきました。

8月4日

医療CGプロデューサーの瀬尾拓史氏の記念講演がありました。CGと医学という専門性の高い2分野をつなぎ、制作したソフトウェア等を用いながら説明をしてくださり、大変興味深い話ばかりでした。

講演会の後には表彰式がありました。今回は残念ながら入賞を逃してしまいましたが、発表者は持てる力のすべてを出し切り、自らの研究内容や成果をたくさんの人に伝えることができたようです。

以下、参加した生徒の感想です。

「私たちの研究は、先行研究が全くない状態から始まりました。時には、意見がぶつかり合うこともありましたが、多くの先生や友達の協力によって研究をやり遂げることができました。コロナ禍で開催も危ぶまれる中でしたが、三年間の探究活動の成果を発表する機会をいただき、嬉しかったです。又、全国から集まった高度な研究発表を見たことは、今後の学びにつながるかけがえのない経験になったと思います。」

「2年間に及ぶびゅんびゅんごまの研究は行き詰まることも多くありました。しかし、総文祭に向けさらに実験・考察を重ねていく中で、この研究の面白さを改めて実感できました。また、全国のさまざまな研究発表を見られたことは非常に刺激的で、新たな発見を得られました。自分では思いつかないような方法や観点での実験は今後、研究を行う際に参考になると感じました。全国総文で研究成果を発表するという貴重な経験ができたことを嬉しく思います。」

